

野生イノシシ捕獲に係る取組状況について

1 豊橋市及び田原市における野生イノシシの捕獲頭数について（表 1、図 1）

2025年度12月末時点の野生イノシシの捕獲頭数は、豊橋市264頭（前年度同時期：174頭）、田原市359頭（同：244頭）となっている。

豊橋市、田原市ともに前年度と比べ大きく増加しており、12月末時点の同時期と比較すると、捕獲頭数の多かった2023年度よりも多くなっている。

また、県が田原市内で実施している指定管理鳥獣捕獲等事業による捕獲頭数は、12月末時点で44頭（同：22頭）となっている。

表 1 野生イノシシの捕獲頭数の経年推移（頭）

市／年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025*	
豊橋市	165	121	210	316	259	264	
内訳	有害	160	111	198	303	256	264
	狩猟	5	10	12	13	3	0
田原市	270	125	212	393	292	359	
内訳	有害	204	87	160	370	262	315
	指定管理	66	35	47	15	27	44
	狩猟	0	3	5	8	3	0
計	435	246	422	709	551	623	

※2025年度は12月末時点の速報値

捕獲頭数

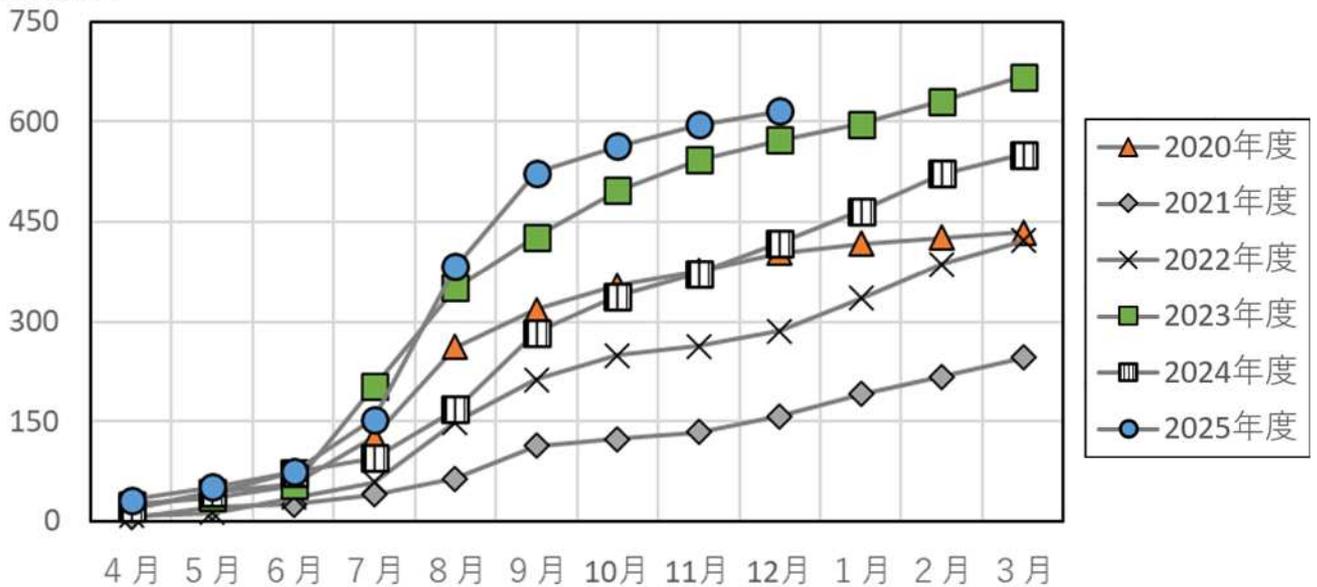


図 1 豊橋市及び田原市における野生イノシシ捕獲頭数の月別積上推移

2 30kg 以上のメスの捕獲効率について（資料 1－2）

豊橋市及び田原市において 2019～2025 年度に捕獲された野生イノシシのうち、妊娠可能と考えられる 30kg 以上のメスの毎月の捕獲頭数について、わな種別の捕獲頭数と全体の捕獲数に占める割合をとりまとめた。

30kg 以上のメスの捕獲割合は例年、夏季に低下し、それ以外の季節では 30%前後で推移している。2025 年度は若干割合が低いものの同様の傾向を示している。また、月別の捕獲頭数のピークも例年と同様に 8～9 月頃であり、30kg 以上のメス捕獲頭数も 8～9 月がピークとなっている。

例年 12～3 月は 30kg 以上のメスの捕獲頭数が増加する時期であり、くくりわなによる捕獲割合が他の時期と比較して大きくなっている。2025 年度についても、10 月頃からくくりわなによる 30kg 以上のメスの捕獲割合が大きくなってきているため、冬季はくくりわなを積極的に活用することで、春季の再繁殖を抑える効果が期待できると考えられる。

3 その他（資料 1－3）

県内の野生イノシシの豚熱陽性個体確認状況について、2025 年度は 12 月末時点で 3 件と、2024 年度の 7 件（前年度同時期、通年で 10 件）と比べ、減少している。なお、2025 年度の検査頭数は 12 月末時点で 1,070 頭であり、2024 年度の 1,029 頭（前年度同時期、通年で 1,066 頭）からやや増加している。

県内の地域ごとの捕獲頭数について、2025 年度第 2 四半期は、西三河地域、新城設楽地域では昨年度より少なくなっているが、東三河地域では 2021 年度以降最も多くなっている。一方、2025 年度第 3 四半期は、11 月末時点の捕獲頭数ではあるが、県全体では 2021 年度以降最も少ない値で推移している。